

花火大会の入場券贈呈

児童養護施設、医療機関に

室蘭商議所



伊藤施設長（右）に目録を手渡す栗林会頭

室蘭商工会議所（栗林和徳会頭）は、20日に道の駅みたら室蘭周辺特設会場で開催予定の「DRIVE IN 室蘭花火大会」（実行委員会主催）の入場券を、室蘭市母恋南町の児童養護施設・わかすぎ学園や、会

員の医療機関と介護事業者にそれぞれ贈呈した。

同花火大会は、コロナ禍で頑張っている人に感謝の気持ちを伝え、新たな門出を迎える人を祝うために開催する。趣旨に賛同した同商議所は、諸事情で親元を

離れて施設で暮らす子どもたちに「花火のように明るく元気な気持ちになってもらいたい」と、10万円のプレミアム券1枚を含む計4枚の入場券を贈ることにした。

5日に栗林会頭がわかすぎ学園を訪れ、伊藤裕司施設長に目録を手渡した。栗林会頭は「コロナ禍でストレスがたまる中、花火を見て気持ちを和ませてほしい」と子どもたちにメッセージを伝達。伊藤施設長は「当日は職員を含めて約20人で見に行きたい。子どもたちは喜んでいます」と感謝していた。

また、感染リスクを抱えながら、市民の健康や生命を守るため日々奮闘している医療機関、介護事業者にも「敬意と感謝を込め、ひと時の癒やしを感じてもらいたい」と、医療機関は8施設計22枚、介護事業者は13施設計13枚を郵送する。

（奥野浩章）